学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

発信していきます

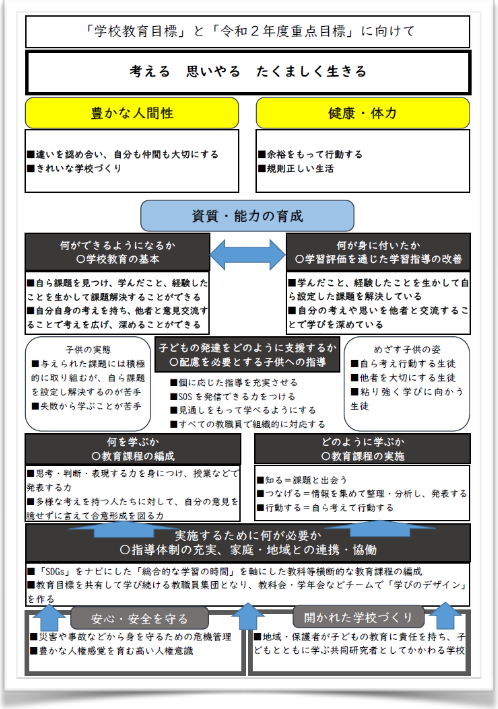
近年教育界を取り巻く環境の変化はめまぐるしく、10年前、20年前の教育スタイルとは様変わりしています。

ICT機器の導入や、班学習の取り組み、総合学習の変容など、時代に合わせ、生徒に必要な資質・能力を育成していくために、外部の知見（大学教授や専門家など）を積極的に校内に入れ込んでいます。

保護者の皆様におかれましては、この教育の変容に戸惑いを感じることもあるかと思いますが、「学力向上の取り組みNEWS」を定期的に発行し、少しでも「新しい一中の教育」をお伝えしていこうと考えています。

これから訪れるだろう激動の社会でも、一中生が、自信を持って羽ばたいていけるよう、ご協力お願いします。

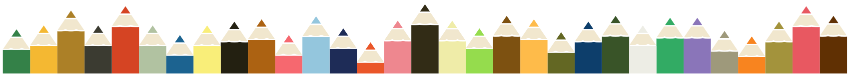
新しい時代を生き抜くために



休校期間が終わり、２週間の分散登校を経て、６月１５日より学校が再開しました。この４月からスタートするはずだった様々な行事や取り組みが実施できるかどうか、不安な中の再開でした。

右の資料は、学校の「グランドデザイン」と言われるものです。昨年度末に、新学習指導要領作成に携わっており、文部科学省中央教育審議会委員を務めている、横浜国立大学の高木展郎名誉教授に来校いただき、本校職員が「どのような教育をしていきたいのか」を議論し、高木先生の力添えのもと、教育目標をグランドデザインとして取りまとめました。来年度実施の新学習指導要領に基づき、一中生が獲得したい資質・能力を明確にして、一中の目標を定めたものです。

このグランドデザインは、6月末に各学年の総合の時間に生徒には配布しており、ホームページでも公表しています。このグランドデザインに基づき、授業や取り組みなどを見直し、改善しています。

グローバル化やAIなどが急速に発達し、社会の構造が大きく変わっていく現代において、今までのような暗記中心の教育では国際社会の中で日本は取り残されてしまう。そこで教育を改革しようというのが新学習指導要領です。

めまぐるしく変化する社会で生き抜くためには、「受験で高い点数をとるためだけ」に勉強するという考えでは取り残されると、高木先生を含めたたくさんの研究者が警笛を鳴らしています。今こそ学ぶとは何かを真剣に考えるタイミングなのかもしれません。受験でも、社会人になっても輝いて欲しい。そんな思いを込めて作っています。